



◆小寺 光信 議員

養老町の消防は

町長 消防力の整備指針により対応

養老町の消防は「消防力の整備指針・人員に係る指針」により整備しているが、人員の総数については不足している。

問 養老町の消防体制は。

数と時間が発生した。対応は隣接の消防署の応援及び非番職員の招集で対応している。

答 消防力の整備指針により養老町は

本署、南分署と上石津分署の3箇所を設置。また人口割基準による車両配置は消防ポンプ自動車3台に対し4台、化学消防車1台に対し1台、救急車2台に対し3台、はしご車2台に対し3台、はしご車2台に対し配置なし。消防職員数は、基準116人に対し、現有62人で不足数54人。

問 管内の救急車が全て出勤してしまつた回数と時間は。

答 平成28年度7件で67分間、平成29年度4件で45分間、平成30年度5件で80分間において災害の対応困難な件



養老消防署

鳥獣被害対策は

町長 養老郡猟友会により対応

近年鳥獣被害は減少傾向にあるが、対策はわなや猟銃により捕獲に関する有資格者で、知識・経験豊富な養老郡猟友会に委託。

問 鳥獣被害の過去3カ年の実績は。

答 イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルについては減少傾向。ヌートリア、カラスにおいては増加傾向。被害面積や農業被害については過去3箇年は減少傾向にある。

問 養老町における豚コレラの発生及び対策状況は。

答 今年5月、石畑地内で豚コレラ感染により死んだ野生イノシシが発見され、8月までに6頭の感染イノシシを回収した。
7月と8月に経口ワクチンを沢田地内から一色地内までの養老山中、12箇所に散布し、ワクチン回収を行った。死んだ野生イノシシの回収時には、使い捨ての防護服・手袋・マスク・長靴・ゴーグルを着用している。



◆岩永 義仁 議員

格技場の老朽化と安全対策は

町長 必要な対策を実施する

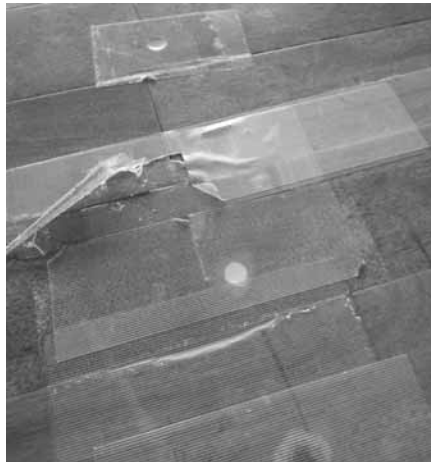
養老町武道場、高田中学校格技場が建設から40年近く経過し、目に見えて劣化が進んでいる。

問 老朽化による床の破損が原因で、複数の怪我人が発生していると利用者から報告を受けた。町での把握状況は。

答 授業や部活動での大きな怪我については報告を受けていない。スポーツの活動で踵を切ったという報告は受けている。

問 改修、修繕の予定は。

答 床板の不良箇所張替え及びサンダー掛けと塗装を行うための修繕費用について、補正予算に計上したところである。



老朽化した格技場の床板

今後の観光施策は

町長 広域連携も含め誘客に注力

2020年は東京五輪が、養老公園では開園140周年を迎える特別な1年となる。観光誘致は情報発信が重要である。

問 県と連動したイベントの開催予定はあるか。

答 ロゴマークを作成したのでパンフレットやHP等でPRし、開園140周年を盛り上げたい。県と連携する企画については予算化に向けて議論と検討をしていく。

問 1年間で4000万人が来日するという試算もあるが、養老への観光客誘致策はあるか。

答 海外プロモーションを実施するほ

問 観光客誘致策の第一歩としてホームページ改善による養老キャンプセンターの活用、外国語対応のサイト開設を提案する。

答 HPの充実と観光パンフレット等の多言語化を検討し情報発信を強化する。